

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道125号 <small>おおや</small> 大谷バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	いばらきけん 茨城県
起終点	自：茨城県稲敷郡江戸崎町佐倉 至：茨城県稲敷郡美浦村大谷	延長	2.6 km		
事業概要 一般国道125号は、千葉県佐原市を起点として埼玉県熊谷市に至る延長約173kmの主要幹線道路である。 大谷バイパスは、江戸崎町から美浦村にかけての幅員狭小、線形不良区間の解消ならびに交通混雑を緩和し、円滑な交通の確保を目的とした延長約2.6kmの4車線道路である。					
H7年度事業化	H6年度都市計画決定 (H7年度変更)	H8年度用地着手	H16年度工事着手		
全体事業費	23億円	事業進捗率	57%	供用済延長	- km
計画交通量	17,200台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 11 / 24 億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 40 / 40 億円	
	(残事業)	(事業費：9/22 億円) (維持管理費：2/2 億円)		(走行時間短縮便益：34/34 億円) (走行費用減少便益：6/6 億円) (交通事故減少便益：0/0 億円)	
事業の効果等 ・物流効率化の支援（農林水産品（かぼちゃ）の流通の利便性が向上） ・災害への備え（対象区間が「茨城県地域防災計画」において第一次緊急輸送道路に指定） 他 3項目に該当（定量的評価項目を含む）					
関係する地方公共団体等の意見 本路線は、地域間交流の促進等に重要な役割を担っており、桜川村をはじめとする関係1町2村の首長で構成される国道125号整備促進期成同盟会が整備促進の要望（平成15年8月20日）を行っている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成15年8月に「阿見土浦バイパス」が全線開通し、国道6号や常磐自動車道 桜土浦インターチェンジへのアクセス道路としての役割が高まっている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得の遅れに伴い工事の着手が遅れていたが、平成16年度より工事に着手している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 優先区間（美浦トレーニングセンター入口交差点～阿見町側現道間 約1km）を設定し、この区間の用地取得を平成17年度までに完了させ、早期完成を目指して工事の進捗を図る。					
施設の構造や工法の変更等 二次製品の大型化や再生材の利用及び現場発生土の有効利用等コスト縮減を図っている。					
対応方針 対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。